

第14期開放講座 「水と街道」だより 《第2回》

発行：平成24年11月発行
発行元：国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
開放講座「水と街道」事務局
電話：0572-25-8020

【第2回 開催概要】
開講日時：平成24年10月11日(木) 10:00~15:30
内容(場所)：砂防講座(中津川市栄町「にぎわいプラザ」)、
砂防現場見学(天白公園・滑川第1砂防堰堤)

砂防講座(直轄砂防事業等)、質疑応答

午前中は中津川市の「にぎわいプラザ」で有澤砂防調査課長による砂防講座が行われました。

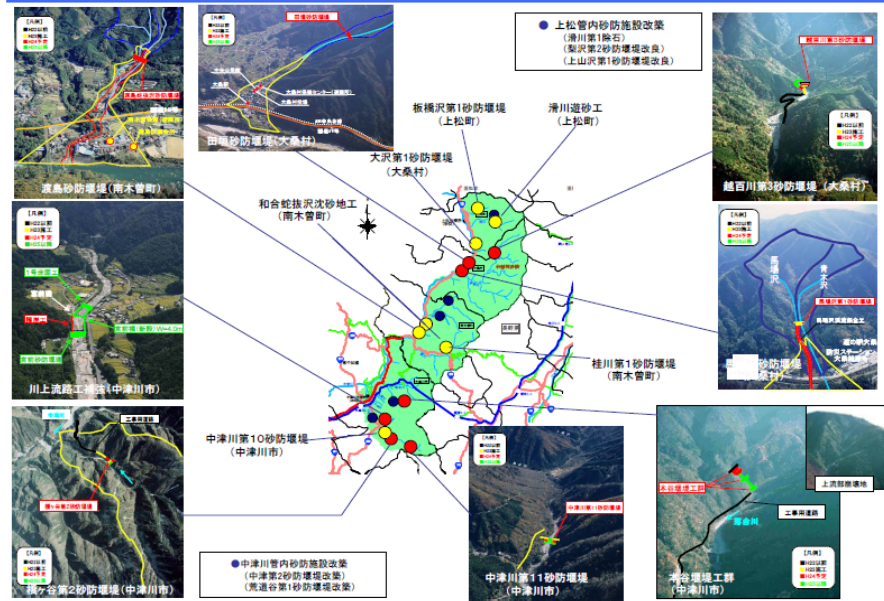
当事務所の砂防事業(木曾川水系・庄内川水系)での過去の災害や事業の実施状況、全国での土砂災害の発生状況、昨年度の台風12号の災害・東日本大震災への国土交通省のTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣などの活動状況などを紹介しました。

また、土石流の映像や被害状況の写真等により、土砂災害の恐ろしさを実感されたことと思います。



砂防講座に耳を傾ける会員のみなさん

木曾川水系の直轄砂防事業(平成24年度)



講師：有澤砂防調査課長

【第2回 出席者データ】

多治見地区	16名
(会員数)	19名
中津川・木曾地区	13名
(会員数)	19名
合計	29名
(会員数)	38名

砂防現場見学(天白公園)-南木曾町-

午後からは天白公園を見学をしました。当該箇所は、昭和28年に土石流が発生した箇所であり、吉田上松出張所長からその当時の状況や南木曾町での過去の土砂災害の歴史を資料により説明しました。また、土砂災害からの身を守るための注意点などの話もありました。



(現地で過去の土砂災害の状況を説明をする吉田上松出張所長)

砂防施設見学(滑川第1砂防堰堤)-上松町-

次に、滑川第1砂防堰堤を見学しました。砂防堰堤の上に登り、吉田上松出張所長から砂防事業の目的・役割やその効果を滑川第1砂防堰堤での過去に発生した土石流の状況とあわせて説明をしました。

当該箇所では、砂防堰堤で捕捉した土砂の除石工事が実施されており、通常よりはるかに大きなダンプトラックやバックホウの作業を見ることができました。



滑川砂防公園にて

滑川第一砂防堰堤 諸元

(計画諸元)
貯砂量：309,000m³
(構造物諸元)
形式：コンクリート
総立積：128,716m³
主ダム高さ：22m
// 長さ：300m